

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2024-01-01 No. 160

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 電磁適合性 (EMC) – 伝導妨害イミュニティ (3/3)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	11
UNECE: 国連規制第 160 号 (イベント データ レコーダー) 01 シリーズの修正への補足 2	12
UNECE: 国連規制第 0 号 (IWVTA) に対する修正の 06 シリーズに対する提案	13
UNECE: WP.29: バスや長距離バスでの子供の輸送の安全性を強化する新しい国連規制	13
国際テーマ: EU 市場における消費者の安全状況: 製品の適合性が向かう先	14
国際テーマ: 南アフリカの市場参入条件: 3 つの規制機関が、それぞれ異なる分野と側面に対応	15
国際テーマ: ベトナムの新しい ICT 機器の安全要求事項の適用状況	16
国際テーマ: アラブ湾岸地域における電子認証書の導入	17
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	17

USA: FCC: KDB: 別の機器認可申請の試験データの参照を認める FCC のポリシーとは?	18
USA: FCC: ワイヤレスハンドセットの 100%を補聴器両立性とすることを提案	18
USA: FCC: コンチネンタル社のパート 15 規則の免除要求が認められる: TPMS	19
USA: FCC: GPR 社に関する 2023/11/2 付け適用免除命令を変更: 単一の免除条件を削除	20
USA: CPSC: 適合証明書に関する CPSC 規則を改訂: 証明書の電子届出(eFiling)の導入を提案	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: RSS-102 — 無線通信機器の無線周波(RF)曝露(全周波数帯)の適合性	24

EU: 低電圧指令の整合規格に関する委員会実施決定が公示	26
EU: 欧州委員会は、より持続可能で修理可能で循環的な製品に関する暫定合意を歓迎	26
EU: マルチモーダル旅行情報サービス(MMTIS)に関する委任規則の改訂	27
UK: 欧州: 機械に関する指定規格の変更案が発行	27
EU: CENELEC: 新規格リスト	28
EU: ETSI: 新規格リスト	32
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト	32
ニュージーランド: 安全に関する最新情報・絶縁貫通構造を有する危険なコンセント	34

中国: SAMR: 電動自転車や安全ヘルメットなど 28 品目の品質に対する 2023 年報告書	35
中国: SRRC: 《無線送信機器監督検査弁法 (意見募集案)》についての意見募集	35
中国: CQC: 自動車用間接視覚装置の認証規則の改訂および GB 15084-2022 による規格格上げ	36
中国: CQC: 電気化学エネルギー貯蔵用リチウムイオン電池管理システムの認証要求事項	37
中国: CQC: ダブルエンドタイプ LED ランプの安全性及び電磁両立性認証規則の更新	37
中国: 新規格リスト	38
台湾: BSMI: 当局が検査を実施する除湿器製品に関連する規定の検証及び解釈	41
台湾: BSMI: ダブルエンド式 LED ランプのエネルギーラベリングの効率基準及び表示方法	41
台湾: 新規格リスト	42
韓国: KATS: 電気通信事業用無線設備の技術基準	42
韓国: KS 新規格リスト	43

総務省: 2.4 GHz 帯無線 LAN 等の欧米基準試験データ活用ガイドラインの公表について	45
経済産業省: 特定家庭用機器再商品化法施行令の一部を改正する政令閣議決定: 有機 EL テレビ	46
経済産業省: 電気用品安全法のページトピックスにおいて、中国製品販売事業者への留意点等	46
経済産業省: デジタルスキル標準 は人材類型の総合ガイド! イオンの活用法とは	47
経済産業省: 「進出先国税制及び税務ガバナンスに係る情報提供オンラインセミナー」を開催	47
国土交通省: 保安基準に適合した電動キックボード等を購入・使用しましょう	47
国土交通省: アジア各国が WP.29※1 での基準策定に参画・連携することを目指します	48
ちょっといっふく〜小クイズコーナー 情報通信技術機器のベトナム規格	17
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	49

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 電磁適合性 (EMC) - 伝導妨害イミュニティ (3/3)

- IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) - パート 4-6: 試験および測定技術 - 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に規格の概要も含め、解説する。
- 本第 5 版は、2013 年に発行された第 4 版を廃止し、置き換える。本版は技術的な改訂版である。本版は、以前の版に対して次の重要な技術的変更が含まれている。
 - a) 注入デバイスの選択を修正; b) クランプ注入の AE (補助機器)インピーダンス チェックの必要性が削除され、付録 H が削除された; c) 飽和チェックが改訂された; d) 複数の信号を使用した試験に関する新しい付属文書 H を追加; e) 試験信号発生器の設定方法の変更。

UNECE: 国連規制第 160 号 (イベント データ レコーダー) 01 シリーズの修正への補足 2

- 国連規制第 160 号 (イベント データ レコーダー) に対する 01 シリーズの修正に対する補足 2 の提案。付属文書 4 データエレメント及びフォーマット中の表 1 を修正する。

USA: FCC: ワイヤレスハンドセットの 100%を補聴器両立性とすることを提案

- 米国連邦通信委員会(FCC)は、米国で発売されるワイヤレスハンドセット(すなわち携帯電話とスマートフォン)の 100%を、補聴器と完全に両立させることを提案した。
- 本日採択された規則制定案は、米国で発売されるか、使用のために輸入されるワイヤレスハンドセットモデルの 100%HAC 要求は達成可能であると暫定的に結論づけている。また、FCC は、ワイヤレスハンドセットと補聴器の間の Bluetooth 接続の利用を含む、HAC のより広い定義を採用することに関してコメントを募集している。

USA: CPSC: 適合証明書に関する CPSC 規則を改訂: 証明書の電子届出 (eFiling)の導入を提案

- 米国消費者製品安全委員会(CPSC)は、適合証明書に関する CPSC 規則を改訂するための“規則案作成に関する補足通知 SNPR”を発行した。この SNPR では、証明書に関する規則を試験及び証明に関する他の CPSC 規則と整合させ、輸入された CPSC 規制対象製品及び物質に関し、米国税関・国境警備局への証明書の電子届出(eFiling)の導入を提案している。

EU: 低電圧指令の整合規格に関する委員会実施決定が公示

- 2023 年 12 月 13 日付けの欧州連合官報にて、低電圧指令 2014/35/EU の整合規格に関する委員会実施決定(EU)2023/2723 が公示。
- 今回の実施決定において、下記の EN 規格の適合の適合推定に使用できる最遅期限日(DOW)が 2025 年 6 月 13 日に設定された。
 - EN 60335-2-24 (家庭用及び類似用途の電気機器—安全性—第 2-24 部: 冷却用機器, アイスクリーム機器及び製氷機の特定制事項)、及びそのファミリー規格群

2.4 GHz 帯無線 LAN 等の欧米基準試験データ活用ガイドラインの公表

- 総務省では「無線 LAN 等の欧米基準試験データの活用の在り方に関する検討会」を開催し、令和 5 年 3 月、当検討会にて報告書が取りまとめられました。本報告書においては、2.4 GHz 帯無線 LAN 等の欧米基準試験データを受け入れるにあたり、登録証明機関毎の差異が生じないよう、ガイドラインを作成することが望ましいとされました。本日、「2.4 GHz 帯無線 LAN 等の欧米基準試験データ活用ガイドライン」がとりまとめられたので、お知らせします。

2024年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震で、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

新年のご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症がほぼ終息した中での久しぶりの通常業務に安堵しておられる方も多い事でしょう。「コスモス ニュースレター EMC & 安全」は、発行開始以降今号で第 160 号になりました。これまで皆さまから頂きましたご支援 ご愛読に心から感謝致します。本年もより充実した内容を目指し、意気新たにに取り組む所存です。コスモス Web サイト (<http://www.safetyweb.co.jp/>) のコスモス・ニュース共々御活用ください。皆様のいっそうのご愛顧、ご鞭撻をお願い致します。

お知らせ

2024-02-01 付け発行は休刊です。次号は 2024-03-01 付け No. 161 号と致します。ご了承ください。

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 電磁適合性 (EMC) – 伝導妨害イミュニティ (3/3)



Summary

IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) – パート 4-6: 試験および測定技術 – 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に、規格の概要も含め、解説する。

6.2 結合および減結合デバイス

6.2.1 一般

試験の再現性と AE の保護の理由から、好ましい結合および減結合デバイスは、CDN であると規定。但し、CDN 以外の他の注入方法が使用できる場合の例示として、「CDN の減衰が EUT の意図的な動作に悪影響を与える場合」が追加された。

6.2.2 結合および減結合回路網 (CDN)

これらの回路網は、1 つのボックス内の結合回路と減結合回路から構成される。CDN の選択に関するガイダンスが整理され、提示された。

6.4 試験信号発生器の設定

試験信号レベル設定には 従来 2 つの手順が使用出来るとしていたが、前者の方法(アンプの出力電力の測定)のみで行うことに変更。又、従来の設定方法手順は相当変更され、新たに「試験所は、増幅器が飽和していないことを確認すること。今回新たに規定された方法で実証する必要があること」と明記された。

7 試験のセットアップと注入方法

7.3 複数のユニットからなる EUT

この場合、推薦方式と代替方式で試験ができる。推薦方式では、各サブユニットを一つの EUT として扱い、別々に試験する。

7.6 クランプ注入の適用

本項は全テキストが新設された。クランプ注入により妨害信号を注入する場合の手順を規定する。

8 試験手順

「周波数が段階的に掃引される場合、ステップサイズは前の周波数値の 1 % を超えてはならない」と規定されている。これに加えて今回、「潜在的に敏感な周波数を試験する必要がある」が加わった。又、試験時間を短縮するために、単一の滞留時間中に複数の周波数を同時に適用すること (複数信号により試験) が許容され、その手順が規定された。付属文書 H に詳細有。

9 試験結果の評価

新規格では、**推奨される分類を**、規格制作に係わる委員会によって、性能基準 performance criteria



株式会社コスモス・コーポレーション

自動車部品の耐水試験についてのご案内

当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。

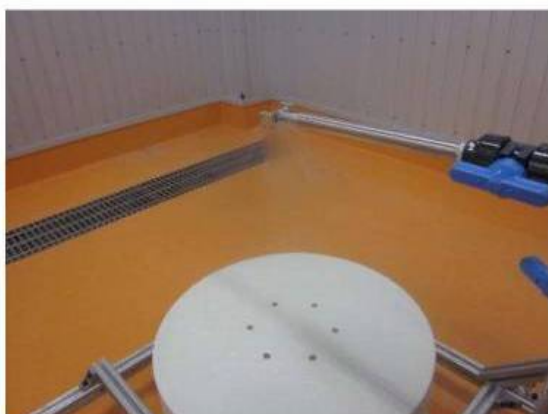
(JIS D 0203 対応)

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

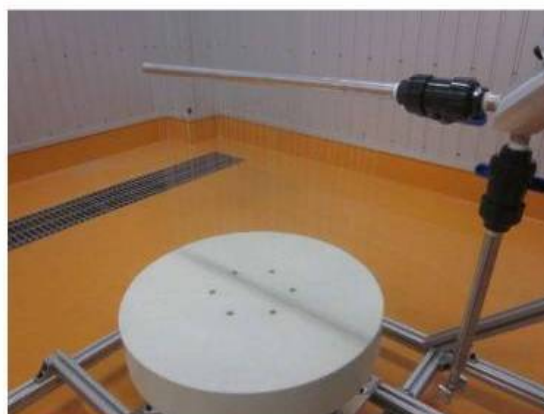
評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

R1 及び R2



S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

社長の独り言

2024 年 1 月 1 日に発生した石川県能登地方を震源とする地震で、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

2024 年 1 月 1 日
濱口 慶一

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年末に、ある社員から嬉しい報告がありました。博士号の取得目的で地元の三重大学に通わせていたところ、工学博士号をいただきました。昨春の私に続いての工学博士号の取得になります。さらに、今年は長岡技術科学大学の私の後輩にあたる社員がなんとか修士論文を書き上げ、学位を取ってくれるだろうと思います。同大学には別の社員も通学しており、彼女も学位取得をしてくれるだろうと期待しています。

年始から恐縮ですが、悲しいことに地球上のどこかで戦争が生じている世の中になってしまいました。輸入のための船舶にドローン攻撃を受けたりするのがごく普通になり、第二次世界大戦前夜と変わらない状況、各国間の関係になってきたように感じるのは私だけではないはずです。今こそ日本人特有の誰とでも仲良くできる特性を活かして、戦争回避に尽力することが重要です。戦争の影響も含め、今年は皆様の企業を取り巻く環境がより厳しくなる可能性が高いように思います。国内内外のリスク分析をきちんとしないと、とんでもない方向に進んでしまいます。このような状況を念頭に置いて、トップの責務として“ISO 31000:2018 (JIS Q 31000:2019)”に基づき社内外を分析しながら、間違った報告に会社を進めないように行動する年にしようと決意しています。

1987 年の創立以来、会社の社是などを何度か変更してきましたが、今年はコスモス協議会の助言を受けながら、創業の時の思いを率直に表現した文言に変更したいと考えています。すべての業務に関して、納期が早い、価格が適切、そして特にコスモスのスタッフに丁寧に教えていただいたというお客様の声をいただけるような、お客様に可愛がられるコスモスにしていくのが、ここまで成長させていただいたお客様への私からの恩返しです。

今年取り組んでいきたいことをいくつか書きたいと思います。1 つ目は、毎月末にはお客様を訪問してお客様の声を直接お聞きするようにしているのですが、今年も引き続き、“ISO/IEC 17065:2012 製品認証機関に対する要求事項解説と適用ガイド”（日本規格協会刊、故住本守氏編著）の 18 ページに掲載されているコンサルティングの解説に抵触しない範囲での技術指導をしたいと思います。2 つ目は、IECEE CB スキームの NCB を目指す試験所の仲間作りをしていきます。3 つ目は、今年の早い時期に、機械安全認証マークとして、弊社の CSC マークサービスを開始します。本当は国の制度化を希望していたのですが、行政には色々と制約があり、民間なら独自で進められるとの理解があることと、純民間の評価機関に期待するとのお言葉をいただいたので、一向に減少しない機械関連の火災・人身事故などを少しでも少なくする一役を担いたいと思います。損害補償保険会社、お世話になった長岡技術科学大学の専門教授などのアドバイスを受けながら、今年同大学を卒業する社員とともに立ち上げたいと考えています。興味のある方はぜひお問い合わせください。

技術者倫理、企業倫理を大切にしながら、弊社のサービスを通じて日本の国民の方々により安心・安全を届けられるよう、社員の力量向上のための教育を引き続き徹底してまいりますので、ご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225

Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準検驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2024-01-01 (No. 160)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2024 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。